

【 教会讃美歌 25 】

1. もろびとこそりて、 いざ、 むかえよ。
久しく待ちにし、 主は来ませり、
主は来ませり、 主は、 主は来ませり。
2. 悪魔の力を うちくだきて
捕虜を放つと 主は来ませり
主は来ませり、 主は、 主は来ませり。
3. この世の闇路を 照らしたもう、
光の君なる 主は来ませり、
主は来ませり、 主は、 主は来ませり。
4. 平和の君なる み子をむかえ
われらの救いと ほめたたえよ、
ほめたたえよ、 ほめ、 ほめたたえよ。
アーメン

ルカ 4・18-19

【 教会讃美歌 37 】

1. きよしこのよる 星はひかり、
救いのみ子は まぶねのなかに
眠りたもう、 やすらかに。
2. きよしこのよる み告げうけし
ひつじかいらは み子のみ前に
ぬかずきぬ、 かしこみて。
3. きよしこのよる み子の笑みに、
あたらしき代の あしたの光
かがやけり、 ほがらかに。
アーメン

ルカ 2・6-7

【 教会讃美歌 33 】

1. あら野のはてに 夕日は落ちて、
たえなるしらべ あめよりひびく。
(おりかえし)
グロリア イン エクセルシス デオ、
グロリア イン エクセルシス デオ。
2. 羊をまもる 野べの牧人、
あめなる歌を 喜び聞きぬ。
(おりかえし)
3. みうたをききて 羊飼いらは、
まぶねにふせる み子をおがみぬ。
(おりかえし)
4. きょうしもみ子は 生まれたまいぬ。
世界の民よ、 よろこびうたえ。
(おりかえし)

ルカ 2・13